しただの郷学園　三条市立森町小学校　学校便り　令和4年8月25日

森小っ子

令和４年度
第５号

教　育　目　標　「進んでやりぬく、たくましい子ども」

ゆくにこみちによらず
「行不由徑」

※森町小HPのURLは、https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/morimatisyo/

さあ、2学期が始まります！

校長　山宮　尚

暑かった夏休みが終わり、今日から子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。休み中に何度か校区内を回ってみましたが、４年生の男子を１名見かけただけで他の子たちと会うことはありませんでした。きっと家の中や他の所で過ごすことが多かったのではないかなと推測しています。（グラウンドでは野球チームの子たちが何回か元気に練習していました。）昨年度まで３年生以上全員の宿題だった科学研究を今年度からやめて、自分で内容を選択できる「自由研究」としました。どんな力作が揃うか楽しみにしています。

さて、今日からの２学期は感染状況がこれまでにないほど広がっている状態でのスタートとなります。繰り返しになりますが、今後も感染症対応を十分に取りながら教育活動を推進してまいります。８月 23 日（火）の 19 時過ぎに三条市教育委員会から配信されていますように、保護者の皆様からの御理解と御協力を学校としてもこれまで同様お願いしたいところであります。全職員で総力を挙げて 88 人の子どもたちを育てていきます。２学期もよろしくお願いいたします。

「私ねえ、上の先生、全部覚えたよ。」　これは夏休みに入る直前に１年生の女子が私に言った言葉です。体育館に向かう廊下の壁側に、右のように全職員の素顔を昨年度から掲示しています。マスク着用が当たり前になっているので、教師も子どもも互いの顔がよく分からないまま過ごしています。特に低学年の子どもたちは入学してから一度も「先生方」の顔を見ないまま学校生活を送っています。人間の表情は口元が見えてこそ相手に伝わります。そういう場が学校でありたいものです。しかし、マスクは着用しなければいけないので、せめて森町小学校の先生方の素顔は分かってほしいとの願いから掲示しています。上の太字の子どもの言葉は、「上の段の先生方の顔と名前は分かったよ。」という喜びの言葉なのです。私の前で順々に全部暗唱してくれました。子どもたち一人一人の心の中に「私の先生」「私たちの先生」として根付いてほしいと思っています。いつかマスクなしの生活が再開し、豊かな表情を交わし合う日々が始まる日を願いながら…。

築山の形状を変えました　右の写真はグラウンドの山側からいっぷくさんをバックに撮ったものです。昨年度のスキー授業の様子を見て低学年のうちから技能を高めるために運動量をしっかり保障することが課題と判明しました。斜度を適切に整えて、ちゃんとグラウンド側に向かって複数コースで滑走できるように形状を変えました。盛った土が固まるまでしばらく寝かせないといけないので積雪の時期まで使えない状態となります。御了承ください。